

夜間（街灯なし）における歩行者に対する被害軽減ブレーキの評価について

《背景》

- 我が国の交通事故死者数のうち、歩行者が 35%（平成 28 年）と最も高い割合を占め、さらに、歩行者の死亡事故のうち、約 70%が夜間に発生している。
- かかる状況を踏まえ、夜間の歩行者事故対策を早急に講じる必要がある。夜間に対応した対歩行者被害軽減ブレーキは死者数削減のために高い効果があると試算されており、当該装置（技術）の技術開発と普及促進が急務である。
- 夜間における歩行者に対する衝突被害軽減制動制御装置（「Autonomous Emergency Braking System」(AEBS)）については、第 1 段階＝2018 年度～（街灯あり条件）
第 2 段階＝2019 年度～（街灯なし条件）の導入としたところである。

* 既に検討会で審議頂いている事項

《試験条件の整理》

- 照度環境：1ルクス未満
- 前照灯条件：高機能前照灯装着車はオート、非装着車はロービーム固定

《評価得点と車速別配点》

- 評価得点：80 点（対象事故全体）－ 25 点（昼間）－ 40 点（夜間：街灯あり）
＝ 15 点（夜間：街灯なし）
- 車速配点：遮蔽なし（30km/h～60km/h）
遮蔽あり（40km/h・45km/h・50km/h）

* 今後の検討

- 街灯なし条件の試験法・評価法の策定
- 被害軽減ブレーキ試験における効率化の検討